導入事例

玩具技術者のための画期的なオートメーション ソリューションを全社に展開し、数百万ドル規模のベネフィットを達成

組織概要

誰もが知るゲーム、玩具、娯楽商品の製造で知られる創業 100 年の複合企業。

結果

280 万
トランザクション処理件数

241,000
削減された時間

1,320 万ドル
コスト削減額

68
オートメーションを導入したグローバル拠点の数

> インテリジェント オートメーションにより、当社のグローバル事業を改善できただけでなく、社内全体の人材とプロセスを強化することもできました。
>
> ベンダー管理/戦略的ソーシング担当 VP

AUTOMATION ANYWHERE

課題

この玩具メーカーでは、テクノロジー上の制約により、業務成果を促進するための戦略が困難に直面していました。煩雑なデータ入力タスクが、高度なスキルを持つ従業員や玩具技術者を含む従業員を悩ませていました。時間を有効に活用できないだけでなく、こうしたことが多くのエラー、遅延、お客様の不満にもつながっていたのです。

ところが、各部門は標準的なグローバル プロセスを変更することに消極的でした。そうした変更によって厳格な法的統制や内部監査統制に対応できなくなるという懸念があったのです。同社はまた、900 以上のツールを使用しており、こうしたさまざまなプラットフォーム内であらゆるオートメーションを確実に機能させる必要もありました。

ソリューション

玩具・娯楽業界の複合企業は、オートメーション・エニウェアの AI 搭載アシスタント「Automation Co-Pilot」を活用して、主要分野 (人事報告、財務予算、調達から支払まで、受注から回収まで、監査) の課題解決に着手しました。同グローバル企業では、ビジネス アナリスト、オートメーション スペシャリスト、プロセス エンジニアから成るセンター オブ エクセレンス (CoE) 主導で、前述の 5 つの事例について、機敏なオートメーション プロセスを開始しました。世界各地の 68 の拠点にツール管理ソリューションを導入することで、115 社のベンダーの 2,000 以上のプロセスを自動化した結果、11,000 時間を削減することに成功しました。計 280 万件のトランザクションを処理し、処理時間を最大 90%、コストを 1,300 万ドル以上削減しました。

> “当社の目的は、従業員の仕事を奪うことではなく、従業員の負担を軽減して、より付加価値の高い業務に専念できるようにすることでした。
>
> ベンダー管理/戦略的ソーシング担当 VP

自動化された 14 のプロセスの一部

- グローバルなカスタマーサービス機能
- IT ヘルプデスクのタスク
- サプライ チェーン プロセス
- 調達から支払いまでの機能
- 受注から回収までの処理

事例の概要

玩具・娯楽業界の大手メーカーは、いくつかのボトルネックに悩まされていました。テクノロジー上の制約により、業務成果を促進するための戦略が困難に直面していました。その結果、同社の従業員 (高度なスキルを持つ玩具技術者など) はデータ入力作業に追われていました。このような面倒な手作業は、時間がかかるだけでなく、ヒューマン エラーが起きやすく、遅延につながり、多くの非効率の原因となっていました。

同社の経営幹部は、オートメーションを専門とする企業の協力のもと、オートメーションを導入することに前向きでしたが、各業務部門は消極的でした。オートメーションを導入すれば、従業員が仕事を失ったり、監査上の課題に直面する可能性があると考えたためです。また、同社には 900 以上のツールがあり、製造を停止することなく、オートメーション ソリューションを日常業務にシームレスに統合するためのオートメーション パートナーを必要としていました。

そのパートナーとしてオートメーション・エニウェアを選び、オートメーション・エニウェアの AI 搭載アシスタントの Automation Co-Pilot とその API 機能を活用することにしました。同社経営幹部は社内の主要インフルエンサーから同意を得た上で、香港における最初の事例を絞り込みました。最初に重点を置いたのは、人事報告、財務予算、調達から支払いまで、受注から回収まで、監査の 5 分野です。

それから 12 週間のうちに、ビジネス アナリスト、オートメーション スペシャリスト、プロセス エンジニアから成るオートメーション チームを創設し、機敏なオートメーション プロセスを標準化することに専念しました。この実験は大成功を収め、同社は口コミを通じてアイデアを募集し、幅広い同意を得て、グローバル規模に拡大しました。

同玩具メーカーは、人間参加型の責任ある AI に基づくオートメーションを 68 のグローバル拠点に導入しました。ツール管理のための Automation Co-Pilot ソリューションにより、115 社の OEM ベンダーの 2,000 以上の注文を自動化し、年間 11,000 時間を削減することに成功しました。DocuSign などのツールとの統合により、ペーパーレスの自動文書システムに移行することができました。現在、同社はエラーや顧客からの苦情を最小限に抑えながら、280 万件のトランザクションを処理して、処理時間を 90%、コストを 1,300 万ドル以上削減できています。

今後の展望

最初のオートメーション プロジェクトが大成功に終わった同社では、オートメーションを他の部門やプロセスにまで拡張することを計画しています。プロセス ディスカバリーを高速化して、ビジネス リーダーの同意を得るために、効率的な導入プロセスも確立しました。同社は、毎年 16～18 のインテリジェント オートメーションを新たに導入し、年末には定期的に業務の優先順位の見直しを行う予定です。

AUTOMATION ANYWHERE

Automation Anywhere について
オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタル ワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、下記ホームページ、もしくはメールアドレスからお申し込みください。

Automation Anywhere www.automationanywhere.com/jp contact_Japan@automationanywhere.com

@AutomationAnwJP www.facebook.com/AutomationAnywhJP

Copyright © 2024 Automation Anywhere, Inc. Automation Anywhere、A のロゴ、Automation 360、AARI、A-People、IQ Bot、Bot Insight は、米国およびその他の国における Automation Anywhere Inc. の商標・サービス マーク、または登録商標・サービス マークです。本書に記載されるその他の製品および会社名は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

Automation Anywhere ©2024